



NO.1398
1月15日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
四四三・四四五七

元旦宣伝 「戦争する国づくり」は許さない

くらしを守る日本共産党の2議席を必ず!



新年の宣伝をする松浦敏司議員（左）、村椿敏章議員（右）

への暴走がはじまっていることを厳しく批判しました。また、物価の高騰が国民の暮らしと経済を直撃していること、アベノミクスはやめて、働く人の賃金を引き上げて経済の立て直しをすべきであることを訴えました。

今年、統一地方選挙があり、岸田政権の憲法を無視する政治を止めさせるためにも、市議会議員選挙で日本共産党の2議席を何とかして死守しなければならぬことを力を込めて訴えました。

日本共産党の松浦敏司、村椿敏章の両市議会議員は、元旦の午前10時から雪が降る中を市内各所で街頭宣伝を行いました。両議員は、昨年の参院選と秋の市長選挙でのご支援に感謝を述べました。

給食の無償化実現

市長選挙でのたまたかの大きな成果として、学校給食費と市立保育園、法人立保育園、幼稚園・認定こども園の給食費の無償化が実現したことを上げ、市民が声を上げれば政治は変わることを実感したと述べました。

軍拡止め、くらしを守れ

また、岸田政権が、タガが外れたような危険な暴走をはじめているとして、敵基地攻撃能力保有と大軍拡を宣言した「安全保障3文書」の閣議決定、10兆円を超える軍事費を計上した来年度予算案など、憲法を踏みつけにし「専守防衛」をかなぐり捨てた「戦争する国づくり」

映画『100年と希望』上映会のお知らせ

「新春のつどい」は新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。今年「つどい」を変更し、共産党の普段の姿を追ったドキュメンタリー映画『100年と希望』を上映します。昨年9月の韓国・DMZドキュメンタリー映画祭に続き、今年25日からは、オランダ、ロッテルダム国際映画祭でも上映される大注目の作品です。

日時：2月5日（日）13時30分上映
場所：エコーセンター大会議室
入場料：500円

希望と元気の出る映画をぜひご覧ください！



「二十歳の集い」に、網走市議会文教民生委員会委員長の

立場で来賓として参加させていただきました。会場は昨年と同じ市民会館でしたが、私が参加した50年前の成人式も市民会館でした。50年前も女性たちは華やかな振り袖姿でしたが、男性の多くは私を含めて紺色のスーツ姿でした。来賓として壇上から会場を眺めながら、50年前と比べ男性の服装も華やかになったことなど、ずいぶん変わったものだと感じました。同時に、成人を迎える人数が激減していることも実感し、この間の少子化を象徴するかのような会場の状況でした。

さて、2023年がはじまり、3カ月後には市議選が始まります。まだ、新人の顔ぶれが見えてきませんが、選挙になることは間違いないと思います。党員と後援会員を増やし足腰を強くして、たまたかの準備を進め、必ず現有2議席を勝ち取りたいと考えていますので、ご支援宜しくお願い致します。



今年の網走の冬は雪が少なく、凍れる日が続いてますね。先日、地域を廻っていると、道路の除雪がされなくなり近所の方に相談がありました。市に問い合わせると地元の方に委託していた地域で、その道路は除雪路線ではないことがわかりました。市の除雪路線にならないか検討してもらおうことにしました。しかし、狭く行き止まりの道路で転回する場所や雪置き場がなければ除雪はできないとも言われました。

現在市が行っている高齢者支援の町内会除雪制度の活用も検討しなければと考えています。高齢化が進む中で除雪の負担は重くなるばかりです。小型の除雪機による狭い路地でも除雪できるように市の計画と体制が必要です。



流水

「学校給食費が4月から無償となる!!」
コロナ禍で生活が大変な時にとっても嬉しい出来事だった。松浦市議が12月議会で行った一般質問の答弁で、新年度からの実施が決まった。▼議員質問の後押しとなる署名をお願いするため、松浦後援会長小森さんと就学者家庭を訪問した。3人の小学生を持つ親は「無償化している」女満別の友人から引越しておいで、と言われている」と笑う。孫のいる「お爺、お婆」は、「とても助かる。頑張ってください」と励ましてくれた。この無償化は市長選で飯田候補の公約だった。市長選が給食費無償化を実現させたのだ。署名協力者に民報を持って報告とお礼に伺った。「みんなのこえが届いたのですね!!」と喜んでくれた。▼コロナ禍で医療は逼迫、1日の死亡者も過去最高。深刻な事態にも岸田政権は無為無策。物価高騰にも無為無策。子育て支援は口ばかり。ウクライナ問題や北朝鮮のミサイル発射には国民に不安と危機を煽り、「国民の命と暮らしを守る」と「敵基地攻撃能力」保有を含む3文書を閣議決定した。大軍拡は国民の暮らし、平和憲法を破壊するもので決して許されるものではない。武力ではなく、対話と協調によって問題を解決する方向への声を大きく広げよう!

アスリート爺